

# 小中教員 186 人不足!



先日の東奥日報に教員の未配置についての記事が掲載されました。

県内の小中学校の教員が不足し、一部で未配置になっている問題で県教育委員会は 27 日、本紙取材に対し、今年 4 月の始業式時点で小中学校計186人の教員が不足していると明らかにした。昨年同期の 107 人から 79 人増と、未配置状態が約1.7倍に拡大した。～東奥日報より～



昨年も 100 人超えで驚いたけど、今年は更に増えていてビックリ！現状どうなっているか県教育委員会に問い合わせたんだけど、発表の数字よりも更に増えているそうよ。



交渉のたびに県教委は「ホームページやハローワークで募集」「退職教員への働きかけ」「パーパーティチャーへの説明会」「2種免許認定講習会」などの話をするけど、全然追いついていないよね。現場では相変わらず校長先生、教頭先生が人探しに奔走している。



ほんと大変よね。人が足りない分は誰かがカバーしなければならないし、そのことでますます過重労働。体調崩して休職、離職。更なる人手不足。悪循環よね。



組合では「指導主事の派遣を！」と再三訴えているけど、県教委は拒否し続けているよね。教育水準の維持・向上のための研究が必要なのは認めるけど、今、必要なのはそこじゃない。指導経験豊かな指導主事が助けに入ることが現場にとってどれだけ助かるか、県教委は分かってないよな～。

県教委の資料を一覧にまとめてみました。各校ごとの未配置状況は「資料室」の方に掲載

## 臨時講師の未配置状況（非常勤講師を除く）

地区	小学校		中学校	
	学校数	人数	学校数	人数
東青	25	27	7	7
西北	15	21	3	3
中弘南	19	21	5	5
上十三	25	35	6	6
下北	4	4	2	2
三八	30	34	18	21
計	118	142	41	44



どの地区も大変だけど、三八地区が特に深刻！昨年度、青森市の小学校は0だったけど、今年は20校が未配置！

\*うち複数名（2名以上）未配置校が、小学校22校、中学校2校

組合では今後も「指導主事の派遣」を求めて交渉を続けていきます。